

# 勾配屋根 強風対応仕様「Z工法」

年々激しく変化する環境、大規模な自然災害・・・

勾配屋根用、高耐久ロフティー・三星シングルの

「Z工法」をご採用ください。

強風・台風から建物の安心安全な住環境を守ります。

## 特長

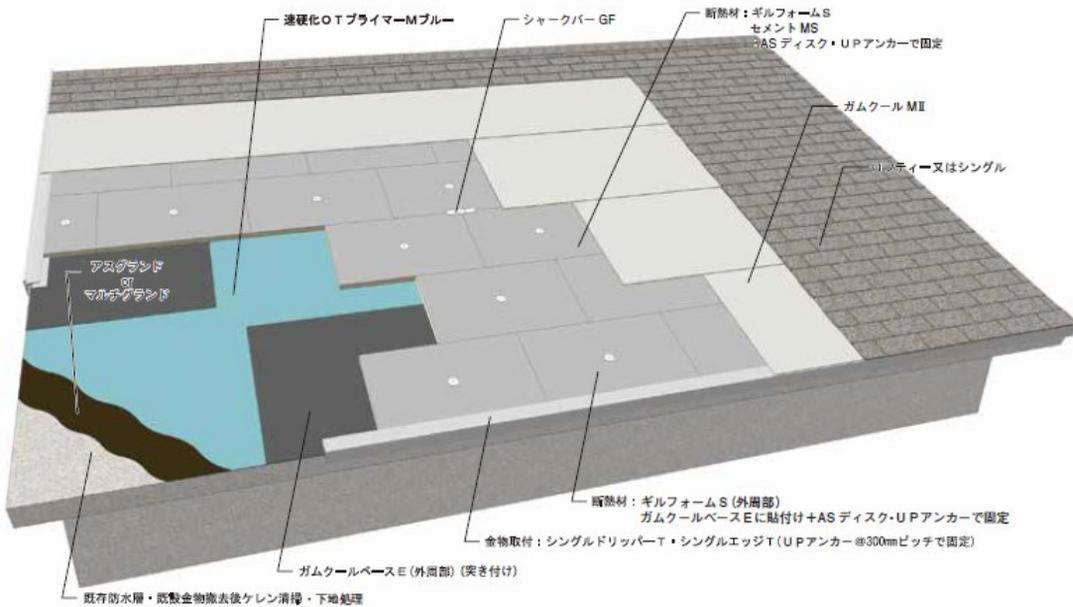
- ① 基準風速を大幅に超えた強風に耐えるために、接着固定に加え断熱材一体化中間構木(特許取得)と専用ディスクによる機械的固定を併用。基準風速60m/sを考慮し、撤去工法では従来比125%の固定強度、基準風速に対する安全率650%以上を確保。非撤去工法では被せ工法の安全性と基準風速に対して機械固定工法にて安全率100%以上とし被せ工法の安全性を高められます。  
(※基準風速60m/s、建物高さ30m、地表面相区分Ⅲ、切妻屋根)
- ② 台風などの強風時に最も負荷の掛かる隅角部・軒先・ケラバの吹き込みをシャットアウトする強風対応用ノキサキ、ケラバ金物を併用。
- ③ 下葺用ルーフィングには、長期的に下地の動きを緩和する改質アスファルトのガムロンテクノロジーによる防水性、耐久性を持つルーフィングを採用しました。
- ④ 仕上げ材は、国産による寸法安定性と日本の気候に合った材料を使用し、独自の防水性、耐久性を発揮します。さらに高耐久ロフティーについては25年の耐用年数を誇ります。
- ⑤ スレートや瓦などの屋根材と比較し、Z工法専用構成材は約15kg/m<sup>2</sup>と軽量で荷重による建物への負担を軽減します。  
(※シングル・断熱35mmの場合)

## 新築または全面撤去改修・断熱工法

# GCZ-710

### 中高層住宅勾配屋根向け強風対応仕様

新築時からの強風対策・または旧防水層(断熱材)を全面撤去して新規に強風対策する仕様です。経年20年以上の断熱防水層や経年劣化による旧防水層などの接着力が弱く※なっている場合にご採用ください。



## 施工品質確保



### 勾配屋根技能学校

高い技術を要する勾配屋根改修。基礎から学ぶ事で、確かな施工技術を習得でき、勾配屋根改修のエキスパートを養成します。